

# YUJ 2010年 秋

平成22年10月29日発行（第7号）

## ユジュ

「YUJ」とは「瑜伽」とも書き、サンスクリット語で、「結ぶ、繋ぐ」を意味します。

YUJを手にとった方とお寺が良い縁で結ばれますように。

<http://www.kagawa-konzouji.or.jp/gyoji/yuj.html>  
[yuj@kagawa-konzouji.or.jp](mailto:yuj@kagawa-konzouji.or.jp)

# 松平 頼重

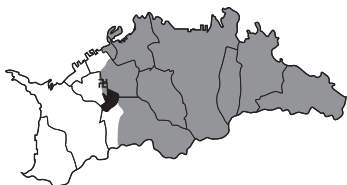
### 初代高松藩主松平頼重の 寺社信仰と光圀の孝の精神

#### 高松藩と金倉寺

安土桃山（江戸初期）にかけて、讃岐国は、豊臣秀吉配下であった生駒親正を藩祖とする生駒家によつて治められました。しかし元和七年（一六二一）、幼年で当主となつた生駒高俊を中心に「生駒騒動」と言われる一連のお家騒動が起こり、生駒家は改易（刑罰と

しての身分と所領の没収）となつてしまいました。こうして讃岐国は高松藩と丸亀藩に分けられることになりました。当時の高松藩の所領は、現在の東かがわ市、さぬき市、三木町、高松市、坂出市、綾川町、まんのう町（旧琴南町、旧満濃町、旧仲南町の東半分）、丸亀市（旧綾歌町、旧飯山町と飯野、土器、水）、原、川西、郡家、三條、原田、垂徳、原田、金蔵寺）であり、現在の香川県のおよそ七割程を占めました。

- 高松藩所領
- 丸亀藩所領
- 天領(琴平)
- 金倉寺



寛永十七年の讃岐国高松藩(松平家)、丸亀藩(山崎家)の所領

重なる兵火によつて衰退しており、寺僧不在の状態でした。そこで檀家衆が立ち上がり、郡家村の真言寺院である長福寺に寺の後見を頼んだため、真言宗の寺院となつていました。寛永六年（一六二九）には了翁が入寺して住職となり、郡家村の高島常久らの助力によつて寺の再興に着手してしました。



智証大師御影堂建立の棟札

# 頼重と光圀

寛永十九（一六四二）年五月、三代将軍家光の命により、初代高松藩主として入藩したのが松平頼重でした。

頼重は江戸幕府創始者である徳川家康の孫で、徳川御三家の一つ、初代水戸藩主徳川頼房と久子の長子として元和八年（一六二二）七月一日に誕生しました。頼房二十歳の時でした。しかし頼房は兄の尾張藩主義直、紀伊藩主頼宣にまだ子供が無く、末弟の自分が兄より先に子供ができることを憚って、側臣三木仁兵衛之次に生まれてくることがないよう措置を託したのでした。

仁兵衛は妻武佐と共に、密かに事の次第を頼房の養母英勝院に告げたところ、英勝院は久子夫人を病氣と称し、仁兵衛の麴町の別邸に引き取らせ、水戸家へ内密に出産させたのが頼重でした。

頼房二十六歳の時、久子夫人は子供を授かりました。この時は二人の兄にも子供がいま

大檀那東照神君孫中納言頼房公長男讚劔刺史源頼重公御武運長久御一門繁榮頼望成辨

于時慶安貳巳年

大工藤原惣兵衛盛我

□□十二日

小工 弔即兵衛

大願主寶幢院大僧都法印良翁息、延命諸願成就院家繁昌富貴自在如三界吉祥

が、事情により子を水に流そうということになり、再び仁兵衛に託されることになりました。仁兵衛夫妻はこれを憂えて水戸の私宅に久子夫人を迎え、密かに出産させました。これが後の水戸藩主徳川光圀で、寛永五年（一六二八）六月十日のことでした。この時は二人の兄にも子供がいるというので、頼房は光圀を正式に水戸藩の世嗣と定めたのでした。

一方、江戸麴町の仁兵衛の別邸で生まれた頼重は、幼名を竹丸、または八十郎といい、内密に養育されていましたが、弟の光圀も仁兵衛の私宅で生まれ、だからといって二人に差別をつける訳にもいかず、頼重は京都の娘の家に託されることになりました。

寛永九年（一六三二）十二月、頼重十一歳で江戸に戻り、寛永十四年十二月二十八日、頼重十六歳の時、始めて父頼房との対面を許され、親子の関係を正式に認められました。翌年には頼重が嫡子であることを幕府に届け、十二月二十八日に将軍家光に拝謁することができました。頼重の身上を知った家光はいたく同情し、翌年には頼重を常陸国下館（茨城県筑西市）五万石の藩主に封ぜました。さらに寛永十九年二月二十八日、家光は頼重の封を高松に移し、十二万石を賜うとの命を下したのでした。

## 頼重の藩政

頼重は三十一年の間藩政に当たり、高松藩十二代、二百二十八年間にわたる治政の礎を築きました。その根本は、文武の道を

たてるとともに民政の安定を図ることでした。頼重は入封早々に屋島古戦場跡を巡り、義経に代わり討死した佐藤継信の碑を建てて顕彰し、また高松城の天守を小倉城（福岡県）に模して外三重、内五重に拡張増築したり、城内寺社の配置換えによって、城の防御を固めました。また当時高松城下町では、水質が悪く飲料水に不自由だったため、亀井と呼ばれたわき水を水源として、街路下に土管や木製の樋竹の管を埋めて、水を各戸の井戸に導くといった上水道を設置しました。この上水道は昭和初めまで利用されるほど優れたものでした。同じく干害で悩む農民のため、頼重は適地を選び、計四百六の

新池を築かせました。また頼重は海岸を埋め立て、多くの新田を開くことも行いました。

また石清尾八幡宮を修理して高松の産土神とし、法然寺を建立して松平家の菩提寺にしたほか、白鳥宮や金刀比羅宮の再興を行いました。また崇徳上皇の白峰陵を修築するなど、尊皇の志も大切にしていきました。

## 金倉寺の再興

頼重はたびたび神社や仏寺を参拝しては宝物や寺領を寄進していました。また由緒ある古寺が衰廃する一方で、新しい寺が数多くできることを遺憾に思っていました。

そこで金倉寺の再興に取り組んでいた了翁らは、頼重に協力を願ひ出しました。実は金倉寺衰微の復興の話は徳川將軍家からもありました。それは金倉寺が智証大師円珍の誕生寺であること、また家康の側近として日光山再建にも深く関わった慈源大師天海の影響もありました。

そこで頼重は、天海の弟子であり下館藩主時代からの親交があった喜楽院算海に相談し、了翁を天台宗へと転宗させた上で、慶安二年（一六四九）から智証大師御影堂を始め諸堂、客殿、庫裏に至るまで再建し、寺領高三十石を寄進しました。

こうして、算海を中興の祖、了翁を中興第一世住職として、現在の金倉寺中興第十六世へと、その血脈は綿々と続いています。算海はその遺言により、金倉寺祖師堂（大師堂）脇にその墓標が安置されています。

## 高松藩と水戸藩

一方、水戸藩で世嗣となつた光圀は、十八歳の頃、司馬遷の記した『史記』の「伯夷伝」を読み、強く感動を受けました。伯夷伝は次のようでした。

殷の狐竹君という国王に、三人の男の子がありました。狐竹君は兄の伯夷より末弟の叔斉を愛し、叔斉に家督を譲るよう望んで亡くなりました。叔斉は伯

夷に譲ろうとしましたが、伯夷は「父の志に反する」といい国を去り、弟もまた兄を追つて国を去つたのでした。

光圀は、兄頼重を越えて水戸藩の跡継ぎになることを心苦しく思い、頼重の子を養つて水戸藩の跡を譲り、自分は子を持たないようしようと考えました。しかし承応元年（一六五二）、光

圀二十五歳の時に侍女が懐妊したため、側近であった伊藤玄蕃友次に預け、できれば子供が生まれたいように依頼しました。これをいたましく思つた伊藤玄

蕃は、頼重にこのことを相談すると、頼重が内密に養育すると定めたのでした。

寛文元年（一六六一）父の頼房が亡くなつた後、光圀は頼重を始めとする兄弟を集め、頼重の長子松千代を世嗣にし、認められないなら隠居する覚悟である、と伝えました。しかし、頼重が

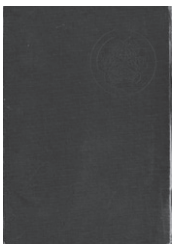
これを固辞したため光圀は席を立ち、残つた兄弟がこのままで水戸家が断絶するかもしれない

いと頼重を説得したので、仕方なく頼重も承諾しました。

一方、頼重は伊藤玄蕃より預かり、高松で養育していた光圀の子を高松藩の世嗣としました。頼重と光圀の兄弟は、伯夷と叔斉の兄弟のように、互いに思いやり、しかも家を断絶させることなく、このお家騒動を丸く収めたのでした。

こうして水戸藩を嗣いだ頼重の子孫は、光圀の意志をも継いで水戸学を形成させ、後の明治維新の原動力となります。

水戸藩第九代藩主徳川斉昭の子、徳川第十五代將軍である徳川慶喜が、江戸城無血開城など平和的な形で政権移譲を行い、近代日本の独立性を確保したのも、頼重、光圀兄弟の精神に拠るところなのかも知れません。



『高松藩主松平頼重傳』  
松平公益社  
善通寺市立図書館所蔵



前回の煎茶道のお話は、初めてのお稽古についてでした。今回は、三井古流のお手前についてお話ししたいと思います。

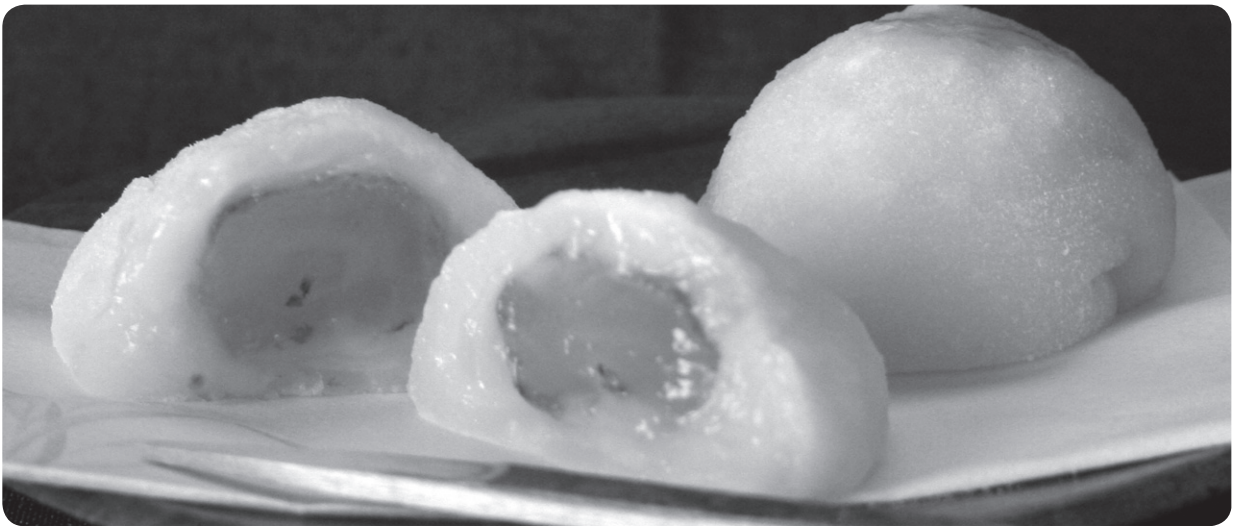
まず初めに教えていただいたのは、常手前というお手前です。使う道具もシンプルで基本的なお手前なのですが、常に客人あるいはお手前を施す人が季節の移ろいや自然を感じるようなものであるのが印象的です。

例えば、涼炉（火をおこすコンロ）の位置を、夏は客人から一番遠いところに置き、逆に冬は近いところに置くといった心遣いを表す。お湯を冷ます時には、その湯気の立ち方や時間か

ら、気温の変化や季節を感じ、水を注ぐ音を滝の落ちる音ととらえ、注ぐ高さを変化させるといったことなど、少しの変化から季節や自然を感じ取る時間が持てるのが何よりの贅沢であると思いました。

というと、何とも優雅な気分になります。ただ、まだまだ初心者の私にとつては、これが難しいものなのです。例えば茶道具の位置が変わることで、他の道具を使うときの仮置き場が変わるため、途中で「さてどこに置んだったけな」となってしまう。また、湯気の上がり方だけで、お湯の冷め具合を判断するのが初心者の私には難しすぎたりと、そう簡単にはいかないのです。他にもまだ私を悩ますことがありましたが、それは次回以降のお話としましょう。

今回のレシピは、季節の果物ぶどうを使用した大福をご紹介します。意外と簡単にできますので、ぜひ季節の果物を使って、お試しください。



【準備】あんを10等分してぶどうをくるみ、よく冷やしておく。【作り方】1. 耐熱ボウルに白玉粉を入れ、水を少しずつ加えて手でよく混ぜ、さらに上白糖を加え混ぜ合わせる。2. 電子レンジで2分加熱、一旦取り出してゴムベラで混ぜ、さらに電子レンジで2分加熱、取り出してよく混ぜる。3. 電子レンジでさらに2分加熱、途中何度か取り出してよく混ぜ、透明感とコシのある状態に仕上げる。4. 餅取り粉を敷いたバットに3の生地を取り出し、上からもストレーナーで餅取り粉をふるいかける。5. 生地を10等分し、手で丸く広げ、あんできるんだぶどうをのせて包み込む。生地が熱いうちに作業すること。  
※電子レンジ500Wの電力で作った場合の調理時間です。

### ぶどう大福

【材料／10個分】

白玉粉…70g、上白糖…100g、水…135g、白練りあん…200g、ぶどう（写真はピオーネ）…10個、餅取り粉（片栗粉でも可）…適量



# 植木の Gorohchi 夏桜~

—金倉寺門前にて、古サクラ親父と隣のサクラのお話。

わしは老いぼれだが、若い者にはまだまだ負けんぞ。体は半分朽ち果せても、ソメイヨシノ魂で人為的な治療を拒み続けて、頑固に生き続けてきたんじや。いったい何をしたら親父さんのような強さが持てるんな。わしは朽ちた体の中に新しい根をばり、ためていたミネラルを吸収し、それを生きた体に運んでしっかりと働いてもらう究極のエコサイクルを持つとるんじや。それで毎年花を咲かせよんじや。確かにサクラの木質には吸収

したミネラルを片付ける押入おし入れのような機能はあるわな。カルシウムは骨格を、鉄、亜鉛、銅は、呼吸に欠かせんもんや。

せやけどわしも最近調子が悪うての。必要以上に葉から大事な財産（ミネラル）が溶け出してる。夏ともなれば光に対抗出来んで、葉が白うなって網目になつてしまふ。息苦しくて夏は嫌いじや。しんどいのう：—そのサクラの話聞いた頑固な植木屋がおりました。なに？しんどい？それはいかん。どれどれ、ちよつと聴診器で聴いてみよう。

おいおい、なにするんじや。ふむふむ、うくと、そうか、なるほどな—：

—頑固な植木屋が使ったのは魔法の聴診器。サクラの葉の化学成分が分かる優れものです。お前さんがしんどいのは、活性酸素と過酸化水素が痰のようにつまっとるせいや。せやから葉が白くなつて具合が悪うなるんで。それにミネラルも足らんあ。酸性雨のせいで大事な財産が溶け出してもうとるの。若造が、なんちゆう事を言うんじや。わしは南からは排気ガスを吹き付けられ、陽は暑いわ、

浜口育弘（文）  
浜口緑研究所代表。除草剤などで弱っていた「乃木將軍妻返しの松」を独自の研究によって元気な姿に戻す。連絡は、〒763-0065 香川県丸亀市塩屋町 2-16-17

Denny Horimizu（絵）  
生まれ育ちは金蔵寺。金倉寺にて月に1度、EmaFaceを展開。似顔絵、ウェルカムボード他、ご要望があれば承っています。  
<http://www.moridukuri.cho-chin.com/>

北からは年がら年中、仁王さんに睨まれてで。えらい、もうどうにでもしてくれ。

よしよし分かった。仁王さんは別として何とかしてやろうなあ、親父よ。仁王さんも悪気はないんで。

やるんならはようせんか。

ほんならな。排気ガスは親父の栄養になるようにしたる。ほんで息がえらくてしんどいのはミネラルが足らんせいや。息吸うには二酸化炭素を分解するマングンが要る。息吐くには過酸化水素を分解する銅が要る。排気ガス、酸性雨の分解にはモリブデン、光合成にはケイ酸が要るでな。施してやろう。梅雨が来る前にな。雨を利用したら水道代要らんきんな。

—そして夏本番のある日。

気分がええわい。ほれ、古い固い幹を自分の力で引き裂いてやったわ。その下からは新しい組織が、力強く仁王さんの血管のようになくましく盛り上がとる。まだまだわしはいけるぞ！！

# 気になる？



# 気になる！



その七、勾玉

勾玉まがたまと聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。何と言って「天皇の位の印」として受け継がれてきた「三種の神器」の一つ八咫瓊勾玉やさかたまとして、八咫鏡やたのかがみや天叢雲劍あまのむらもくのつぎと共にご存じの方が多いと思います。

なぜ勾玉が三種の神器の一つとされたのか、はつきりとした定説はありませんが、日本神話の中に、天照大神あまてらすおほみかみが天の岩戸いわのどに隠れた際、鏡とともに榊さかきの木に掛けられたというお話が残っています。

そもそも日本において、勾玉こぶんは古墳時代の遺跡から発掘されており、一見すると単なる装飾品のようでもありますが、古代

から魔除けの石・幸運を招く玉として、祭事用具、護符ごふ、呪術的、権力の象徴など、祭事を行う人や位の高い人に多く使われました。その形は、コの字型に湾曲した形と一端いったんに紐を通せる孔あなが開いているのが特徴ですが、その形が何を意味しているのかご存じでしょうか。

実はその形に關しても諸説ありますが、その一つにお腹の中の胎児をモチーフにして作られる生命や魂を表したといわれる「胎児説」という説があります。飢えと隣り合わせのかつての古代人にとつて、集団規模を維持することすら大変なことだったはずで、生まれた子どもが元気に育つてほしい、産んだ女性が健全であつてほしい、という思いがあつたでしょう。また、勾玉の孔には、祖先との繋がりを持つ意味もあるとか。そういうことから、勾玉は子孫繁栄や子供を思う気持ちの象徴として大切にされたのではないのでしょうか。

# 小僧さん 自習室



その七、円珍さん⑥

福州ふくしゅう（福建省）に到着した円珍えんちんさんは、福州刺史章署しやうじやうの計らいで開元寺かげんじに滞在することになりました。この開元寺の寺主僧じしゆどうであつた恵灌えいかんが、日本から来た円珍えんちんさんに「五筆和尚ごびつわしやうはお元氣でしょうか。」と尋ねました。

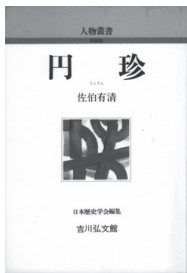
この「五筆和尚」とは空海くわいかいさんのことで、空海さんの伝説によれば、口と両手足に筆を五本持ち、同時に五行の文章を書くことをいうそうですが、事實は楷書かいしよ、行書ぎやうしよ、草書そうしよ、篆書てんしよ、隸書れいしよの五つの書法に巧みな空海さんを讃えて呼ばれた敬称でした。さて、五筆和尚が空海さんのことだと知った円珍えんちんさんは、空海さんがすでに故人であること

を恵灌に告げました。すると恵灌は胸をたたいて悲しみ、空海さんの才芸を賞讃した、と円珍さんの記録に残っています。

九月に入ると円珍えんちんさんは、この入唐求法の目的が天台山てんだいざん、五台山ごたいざん、ならびに長安の青龍寺せいりゆうじや興善寺などを巡礼し、仏教を訊ね求めるためであることを章署に伝え、その巡礼のために通行を許可する公驗くげんを交付して欲しいと伝え、許可されました。

福州を発つた円珍えんちんさん一行は、一路天台宗の母山である天台山を目指し、大中七年（八五三）十二月十三日、ついに天台山てんたいざん清寺せいじに到着しました。

翌十四日、円珍えんちんさんは朝からそわそわとしていました。それは、十五年前に留学僧るがくそうとして唐へ渡つた円珍えんちんと、対面の時が近づいていたためでした。



『人物叢書 円珍』  
佐伯有清 吉川弘文館

## 祈願・供養について

今回は金倉寺で行われている祈願や供養についてご紹介したいと思います。なお、祈願を希望される方は、事前の予約をお願いいたします。また安産祈願、子授祈願は決まった日に行っておりませんが、都合のつかない場合はご相談下さい。

### ■護摩祈願（添護摩三百円）

奇数月の二十八日、本堂護摩壇にて、十時半より護摩祈願を行います。護摩祈願は行者が不動尊どうどうそんと一体となり、願い事を一つ一つ聞き届けます。また、正月一日と三日は初護摩祈願として、祈願札の受付も行っています。添護摩は本堂にて随時受付しています。



護摩祈願

### ■安産祈願（祈願料壹万円）

昔より妊娠五ヶ月に入った初めの戌いぬの日に、胎児の健康と安産を祈願し、腹帯を巻いて、家族とお祝いの席を設ける「帯祝おびいわい」を行う習わしです。金倉寺では、戌の日の十時半より、訶利帝堂かりていどうにて、安産祈願を行っております。戌の日は次頁の「金倉寺の暦」をご確認下さい。

### ■子授祈願（祈願料壹万円）

訶利帝母かりていもさまは「求めているにもかかわらず子供ができない者に子供を与える」ことをお釈迦しやくか様に約束された神様であり、『鬼子母経きしむきょう』、その訶利帝母尊かきりていもそん（鬼子母神）が日本で最初に出現した地が金倉寺であります。そこで金倉寺の訶利帝堂では、訶利帝母さまの縁日である毎月十六日、午後一時半より子授祈願を行っています。

### ■交通安全祈願（祈願料壹万円）

金倉寺境内にて、お不動さまに車一台一台の交通安全を祈念し、運転手さまが安全運転できるようにお祓はらいを行います。

### ■先祖供養（供養料壹万円）

本堂阿弥陀如来あみだにょらいさまにご先祖さまの追善供養つぜんくわうをお願いし、ご先祖さまより家内へ幸福をもたらしていただきます。

### ■水子供養（供養料壹万円）

様々な理由によって生まれることができなかった水子みずこが、無事に次の生を得ることができるよう追善供養を行います。

### ■開眼供養（祈願料任意）

新たに購入された仏像や仏壇、お墓などに、新しい仏さまの魂を迎え入れます。

### ■撥遣供養（祈願料任意）

仏像や仏壇、お墓などを修復、処分する際に、その場にいらっしやる仏さまを一時的に仏世界へ送り出します。

### ■お焚き上げ（供養料任意）

御守や御札、大切にしていた人形や思い出の品など、処分をする時も粗末にしたいくない品物を供養後、お焚き上げいたします。受付は本堂にて随時承っております。

■その他ご相談下さい。

### ■編集後記

哲濟 今回からYUJは八頁

にボリュームアップ！さらに新連載「植木屋

Gorohachi」では浜口育弘さんとデニーちゃんに協力いただきました。

それではお二人から、一言どうぞ。

浜口 金倉寺さんの樹木調査許可を頂いて多くを勉強しました。環境の変動下に樹木も必死で生きる様子を書きました。

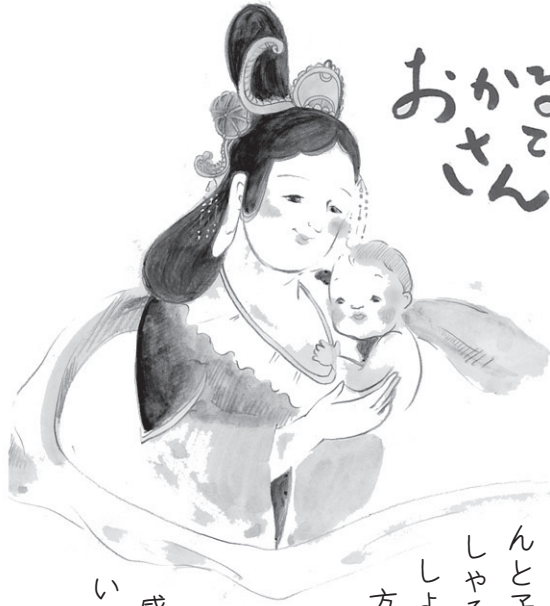
木の命を吹き返す奇跡を沢山起こしてこれた話を伝える役を頂いて、使命感を感じながら描かせて頂きました。

これからのYUJにますますご期待下さい！

哲濟

平成二十二年十月二十九日発行  
編集・発行 金倉寺  
発行人 村上法照  
お問い合わせは  
〒七六五-0031  
香川県善通寺市金蔵寺町一六〇  
TEL〇八七七一〇八四五  
yuj@kagawa-konzouji.or.jp

# おかるさん



ただいま妊娠中あるいは。子育て中のママにとって、赤ちゃんを授かったとわかった時の喜びは共通のものでしょうか。反面、無事に産まれてくれるだろうか、成長に従い困難なことが出てくるのではないだろうか、といった不安も。そこで、先日県内のある助産師さんが講演会でお話されていたことを1つ紹介します。それは、おっぱいを吸っている写真を撮っておくということ。子供が大きくなり、やがて反抗期を迎えた時に、そっと見せるそうです。その写真を見た子供がどう感じるか。また授乳中の方は、ぜひ残しておいてください。

とところで、当寺に訶利帝母尊かりていもそんというお母さんと子供の神様がいらっしやることははご存じでしょうか。地元金蔵寺の方たちは親しみを込めて「おかるてんさん」と呼んだそうです。皆さんにも「おかるてんさん」を身近に感じてもらえるといいですね。



## 金蔵寺の暦

日	月	火	水	木	金	土	十二月 師走
			1	戌の日	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	戌の日	15	訶利帝母縁日	17	18	
19	20	21	22	23 天台大師 御報恩講	24	25	
戌の日	27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土	十月 神無月
					1	2	
戌の日	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	戌の日	訶利帝母縁日	
17	18	19	20	21	22	23	
24 31	25	26	戌の日 智証大師御祥忌	28	29	30	

### 訶利帝母縁日(16日)

日	月	火	水	木	金	土	一月 睦月
						1 修正会 護摩供	
2 修正会	3 修正会 護摩供	4	5	6	戌の日	8	
9	10	11	12	13	14	15	
訶利帝母縁日	17	18	戌の日	20	21	22	
23 30	24 戌の日	25	26	27	28	29 護摩祈願	

### 着帯戌の日

日	月	火	水	木	金	土	十一月 霜月
		1	2	3	4	5	
7	戌の日	9	10	11	12	13	
14	15	訶利帝母縁日	17	18	19	戌の日	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					